**地域密着型サービス運営推進会議記録（第3回）**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 施設名 | 小規模多機能ホーム緑風会登子 | |
| 施設種類 | 小規模多機能型居宅介護 | |
| 開催日時 | 令和元年１０月７日　　　１１時００分　～１１時４５分 | |
| 会場 | 緑風会登子デイルーム | |
| 参加者 | 利用者代表 | ０人 |
| 利用者家族代表 | １人 |
| 地域住民代表 | ３人 |
| 有識者 | １人 |
| 高齢者お世話センター | １人 |
| 市職員 | １人 |
| 事業者 | １人 |

|  |  |
| --- | --- |
| 報告事項 | ・利用者の現況報告、職員研修、行事について  ・サービス評価事業について  ・その他意見交換 |
|  |
| 議題 | ・利用者の現況報告について  （事業所）  　令和元年8月は、熱中症等による急なサービス利用開始や体調不良による  　医療機関への入院などにより利用者の入れ替わりが多かった。  　新規登録者3名　登録解除2名  　登録解除者2名はともに医療機関への入院でした。重度化により、医療ニ  ーズが多くなってきています。  令和元年9月は、新規登録2名、登録解除2名でした。  まだまだ暑い時期であり、高齢夫婦で自宅で食事も十分に摂れない状況で  あった方のお世話センターより小規模多機能サービス利用の紹介をいただ  き利用に至っています。  なお、10月1日に1名の新規利用者をお迎えし、現在23名の利用者様に  利用していただいている。  　8月、9月の特徴として、訪問サービスの利用者が増えてきています。  　逆に泊りサービスの利用者は若干ですが、減少傾向です。  （委員）  　この数字の変動には、要因がありますか？  （事業所）  　要因としましては、当事業所が7月より職員を1名増員した事により、  　今までより訪問サービスを柔軟に提供できるようになってきた事、泊りを  　ほぼ毎日利用されていた方が登録解除になった事が考えられます。  （委員）  　例年、同じような数字になるのか？  （事業所）  　毎年、秋口にかけて利用回数が増え、冬場にかけて緩やかに利用回数が減  っていく傾向にあります。  ・小規模多機能居宅介護サービス評価について  （事業所）  　毎年実施しています。サービス評価事業の時期となってきましたので、  　今後の予定についてご説明します。  　まず、サービス評価の目的としまして、地域の方々とともにサービスの質  の向上を目指し、ステップアップを図っていく事を目的としています。  まず、事業所においてスタッフ自己評価、事業所評価を実施し次回の運営  推進会議で委員の皆様に提示します。事業所自己評価を受けて、その次の  運営推進会議の事前に地域関わりシートを配布しますので、地域関わりシ  ートをもって外部評価をしていただく予定です。よろしくお願いいたしま  す。  ・その他意見交換  （事業所）  　今年はインフルエンザの流行が早いと予測されるので、今回の資料に  　「インフルエンザ一問一答」というリーフレットをつけていますので、  　ご活用ください。  （委員）  　アルツハイマー型認知症について、医学界において現在様々な研究がすす  　められているが、一般的にはアルツハイマー型認知症の要因として不要な  　たんぱく質が脳に蓄積されることが要因と考えられていたが、その説では  　ないという学説も出てきている。しかし、着実に研究は進歩していってい  ます。「アルツハイマー病の真実と終焉」という書籍も出ているので、興味  がある方は読んでみて下さい。 |
|  |